



西台中だより

7月17日 終業式 校長講話「選ばないこと・選ぶこと」

人生はガチャガチャなのか

皆さんは、ガチャガチャをやったことがありますか。駅やショッピングセンターに行くと、ずらっと並んでいますね。最近のガチャガチャは子ども向けだけでなく大人も夢中になるようなものがたくさんあります。私もあの筐体を見かけるとつい足を止めて内容を確認してしまいます。

ガチャガチャの面白いところは、「何が出るか分からない」ということです。もし自分で好きなものを選べるなら、当然一番欲しいものを選ぶでしょう。でも、ガチャガチャではそれができません。欲しいものはなかなか出ず、思ってもいないものが出てくることの方がむしろ多い。しかし、日本で独自に発展したこの販売形態は、運試しに成功した喜びや、外れの残念感、期待と違うものが出てきたがその良さに気づいて愛着をもってしまふ、という一連の行為、つまり商品だけではなく、その商品を手に入れるストーリーまでを一緒に購入しているのだと思います。

これは、私たちの人生にも少し似ています。自分が選ばなかったもの、自分では手に取らなかったものの中にも、価値があることがあります。「これは自分には向いていない。」「興味が無い。」そう思っていたことが、実際にやってみると意外に楽しかったり、自分の得意なことにつながったりすることがあります。だから私は、「選ばないこと」や「偶然に出会うこと」にも、大きな意味があると思っています。

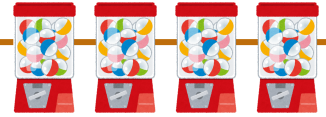
さて、一方で、人生には自分で選ばなければならないことがたくさんあります。部活動を選ぶ。委員会を選ぶ。友達との付き合い方を選ぶ。そして皆さんはこれから、卒業後の進路を選び、仕事をを選び、生き方を選んでいきます。

「選ぶ」ということは、とても悩ましいことです。なぜなら、一つを選ぶということは、同時にほかの可能性を手放すことだからです。サッカー部を選べば、野球部には入りません。この高校を選べば、別の高校には行けません。どんな選択にも、「**選ばなかった道**」があります。だからこそ、人は迷います。そして、選択には責任が伴います。だから真剣に考える。そして選んだら、覚悟を決めて前を向く。これがとても大切です。

それにしても、なぜガチャガチャはあんなに人を引き付けるのでしょうか。私は、「**選ばなくていいから**」ではないかと思っています。普段、私たちは毎日たくさんの選択をしています。何を着るか、何を食べるか、どこに行くか、日常は「**選択**」の連続です。だからこそ「**自分で決めない**」という偶然が楽しい。何が出るか分からないワクワクを味わいたくなるのです。それは娯楽として、とても面白いことです。

でも、人生は偶然まかせにしてはいけません。「**何となく。**」「**みんながそうだから。**」「**親に言われたから。**」そんな理由だけで人生の大事なことを決めてしまったら、つまらない一生になってしまいます。学校は勉強をする場所ですが、それと同じくらい、「**選ぶ練習**」をする場所でもあります。どの課題に挑戦するか。誰と協力するか。どんな言葉を使うか。どんな行動を取るか。**毎日の小さな選択が、皆さんの未来を少しずつつくっています。**だから、ぜひ学校では、自分で考え、自分で選ぶ経験をたくさん積んでください。そして、選んだことには責任をもち、その道を自分の力で最高の道にしてください。**Make your choice !**

人生はガチャガチャではありません。自分で選べるということは、とても幸せなことなのです。皆さん一人一人が、自分の選択を大切に、充実した人生を歩んでいくことを期待しています。



「ひとつを選ぶ。」ことは
「他を選ばない。」こと
「選択」には「責任」が伴う

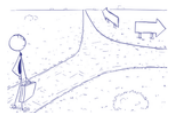


あなたの人生は
ガチャガチャにしない



選ぶ練習を積もう
人生は選択の連続だ！

LIVE
YOUR
BEST LIFE



↑終業式のプレゼンテーションから

校長講話からもう一つ大切なお話

「子どもの権利」4つの柱を考えよう

1989年に国際連合の総会ですべての国が賛成して成立した「**子どもの権利条約**」は、世界で最も広く受け入れられている人権条約で、日本も1994年に入っています。

子どもの権利4つの柱は「**生きる権利**」「**育つ権利**」「**守られる権利**」「**参加する権利**」

条約に入っていたとしても、地域によっては必ずしも守られていない現状があり、大人はもちろん、

子ども自身が自分のもつ「子どもの権利」について知り、学ぶことも欠かせません。



もし、自分が体罰や性暴力の被害にあいそうになったら、または被害にあってしまったら、一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や先生、養護教諭、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に知らせてください。

子どもの権利条約 第19条 あらゆる暴力からの保護

「どんなかたちであれ、子どもが暴力をふるわれたり、不当な扱いなどを受けたりすることがないように子どもを守らなければならない。」

子どもの権利条約 第34条 性的搾取からの保護

「子どもが児童ポルノや児童買春などに利用されたり、性的な虐待を受けたりすることがないように守らなければならない。」

研究の成果を活かして授業に取り組んでいます「生命(いのち)の安全教育」

西台中学校では令和6～7年度にかけて、東京都の研究指定校として中学校における「生命の安全教育」の授業スタンダードについて研究を行いました。**生命の安全教育とは「性暴力の当事者（加害者・被害者・傍観者）にしないための教育」です。**生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身につけます。各学年で計画・実施しているカリキュラムは以下のとおりです。

7年生…SNSの危険性、自他の尊重、自分と相手の心・身体の尊重

8年生…SNSの危険性、デートDV

9年生…SNSの危険性、性暴力の実態

パーソナルスペースについて →
実際に距離感を図ってみると・・・



生徒の活躍

第四ブロック夏季剣道大会 板橋区中学校夏季剣道大会

女子団体 第三位 女子団体 第一位 女子個人三位

社会を明るくする運動 駅頭広報活動ボランティア参加者

() () () () () () () () () ()
() () () () () () () () () ()
() () () () () () () () () ()
() () () () () () () () () ()



駅頭広報活動ボランティア参加メンバー

9月の行事予定

1日(火) 始業式・避難訓練

2～7日 二者面談※部活再登校

9～11日 修学旅行(9年)

11日(金) おしごとなりきり道場(7年)

14日(月) 専門委員会・中央委員会

16日(水) 学校公開日 学校説明会

17日(木) 生徒会役員選挙立会演説会

21～23日 敬老の日 国民の休日 秋分の日

28日(月) 生徒会朝礼

29～30日 中間考査

